

COOL CHOICE

30 SANO × SANOMEDIA

COOL CHOICE

さあ、温暖化のスイッチオフ!



©佐野市 佐野ブランドキャラクター さのまる

株式会社吉川油脂・NANO株式会社佐野支店・滝長瀬林産株式会社

やまの専科「OHA-168」サイクルタウンの推進委員会

地域から始める

市民・事業者全員参加での

賢い選択「クール・チョイス

COOL CHOICE (クール・チョイス)とは…。

エコカーを買う、エコ住宅を建てる、エコ家電にする、LED照明に替える、電車やバスを利用する、クールビズをはじめ低炭素なアクションを実践するなど、地球温暖化防止のためにあらゆる「賢い選択 (=COOL CHOICE)」をしていただく国民運動です。

COOL CHOICE 30 SANOとは…。

国の削減目標(26%)を上回る二酸化炭素等の30%削減(2013年比)を目標に、市民、事業者、市が一丸となって行動することを強く呼びかけるものです。



COOL CHOICE 30 SANO啓発ポスター

お笑い芸人「ワンクッション」が伝える / クールチョイス啓発動画



日常のクールチョイス活動をコント形式でお伝えしています。

【制作】佐野市 【映像制作】ならでは株式会社、TaoGraphics 【制作協力】NPO法人エコロジーオンライン、NPO法人ソーラーシティ・ジャパン 【撮影協力】レンタサイクルしのはら、道の駅どまんなかたぬま、日光軒、みかもクリーンセンター 【出演】ワンクッション



パパと子どもの2人が佐野の街をぶらりとまわり、街で出会うクールチョイス活動を紹介しています。

詳しくはHPへ! COOLCHOICE 佐野

COOL CHOICE 30 SANO × SANOMEDIA

発行元 佐野市

企画

NPO法人エコロジーオンライン NPO法人ソーラーシティジャパン

制作

秋栄堂印刷株式会社 SANOMEDIA編集室

COOL CHOICE

さあ、温暖化のスイッチオフ!

佐野市 × COOL CHOICE

【佐野市は“COOL CHOICE 30 SANO”を掲げ、地球温暖化防止に取り組んでいます。みなさんのご協力をお願いします。/佐野市環境政策課】

COOL CHOICEの主な取り組み

COOLBIZ

夏の冷房時の「室温を28℃に」

WARMBIZ

暖房に頼りすぎず「快適」に

あかり未来計画

エコ証明を「楽しもう」

smart move

移動を「エコ」に「健康」に

eco

「エコ」に「低燃費」に「安全」に

グリーンカーテンプロジェクト

「育てて作る」CO₂削減

EOC Ecology Online Column

我慢の省エネは続かない。正しく、賢く、楽しく省エネライフを! 我々の省エネは続かない。正しく、賢く、楽しく省エネライフを! 我慢の省エネは続かない。正しく、賢く、楽しく省エネライフを!



吉田登志幸

佐野市 EV(電気自動車) 充電スポット一覧

近年、世界中でハイブリッド自動車や電気自動車など様々なエコカーの開発が進んでいます。環境省では、多くの自治体、企業、団体と連携して、エコドライブやエコカーを推進しています。



1 道の駅 どまんなか たぬま

佐野市吉水町366-2 | Tel.0283-61-0077



2 イオンモール佐野新都市

佐野市高萩町1324-1 | Tel.0283-20-5252



3 栃木日産自動車販売 佐野店

佐野市大橋町2071-6 | Tel.0283-22-5211



4 東日本三菱自動車販売 佐野店

佐野市免鳥町303 | Tel.0283-22-3306



5 Honda Cars 佐野 田島店

佐野市田島町49-1 | Tel.0283-20-6070



TAKE FREE

低炭素車両

サイクルタウンさの推進委員会

(あそ商工会発祥生支所内むらおこし実行委員会)
栃木県佐野市葛生西1丁目10-36
TEL.0283-85-2539

地域活性化を
スポーツ自転車で



代表
石川和弘さん

菜 食

やさい専科 ILOHA -168-

栃木県佐野市万町73
TEL.070-3834-0168



店主
山本美智子さん

おいしいヴィーガン料理で
クール・チョイス

里山保全

渡良瀬林産株式会社

栃木県佐野市岩崎町3000-1
TEL.0283-86-7655



取締役執行役員
飯塚正喜さん

山の健康を保ち
環境と産業で
地域貢献を

エコ住宅

YKK AP株式会社 佐野支店

栃木県佐野市堀米町3437-2
TEL.0283-24-0160



開発本部
佐野支店長
石川 晃さん

健康も
省エネはもちろん
断熱性の高い「樹脂窓」で

リサイクル

株式会社吉川油脂

栃木県佐野市飛駒町3845-3
TEL.0283-66-2233



代表取締役
吉川千福さん

使い終わった食用油を
さまざまな製品の
高品質原料に

COOL CHOICE 30 SANO × SANOMEDIA

さあ、温暖化のスイッチオフ!

地球温暖化にともなう気候変動。佐野市民ならもはや誰もがその脅威を身近なものと感じ始めているのではないのでしょうか。
台風19号が甚大な被害を与えた2019年よりさかのぼること3年前。佐野市はその前年に採択された「パリ協定」をもとに、日本が掲げた「2030年までに温室効果ガス排出量26%削減(2013年度比)」という目標を、もう少しだけがんばってみよう!という「30%削減」の推進宣言をしました。それが「クール・チョイス30佐野」。

地域から始める
市民・事業者全員参加での
賢い選択「クール・チョイス」



「ずう」原人まつりを運営する「むらおこし実行委員会」が主催するイベント「回談・暖」2019年のテーマとなったのが「スポーツ自転車」。近年人気が高まり、市内でもサイクリストを見かけることが多くなりました。自転車は言わずもがなCO2排出の少ないエコ車両であり、移動と楽しみを低炭素で叶えられるツールのひとつです。



佐野市の中山間地域は信号が少なく、美しい山々にも囲まれ、スポーツ自転車にとってかなり魅力的な地形。イベントでは、スポーツ自転車界を牽引するチーム「宇都宮ブリッツェン」(廣瀬佳正氏)らをパネラーに招き、佐野市の中山間地域とサイクリストのリアルの可能性について活発な意見が交換されました。活動の最初のステップとしてロードバイクをホール

健康な山は土砂災害や河川の氾濫を防ぎ、綺麗な水や美しい空気を育みます。山林を守りながら、地域産業も支えます。2016年の設立から3年、子どもたちの未来を守るプロジェクト「渡良瀬流域構想」として進めてきたこの会社の挑戦は着実にその歩みを進めてきました。



「健康な山は土砂災害や河川の氾濫を防ぎ、綺麗な水や美しい空気を育みます。山林を守りながら、地域産業も支えます。2016年の設立から3年、子どもたちの未来を守るプロジェクト「渡良瀬流域構想」として進めてきたこの会社の挑戦は着実にその歩みを進めてきました。」

住宅の中で熱の出入りが一番多い場所が「窓」。夏は全体の74%で壁の6倍、冬は52%で同じく3倍という数字から分かるように、熱は圧倒的に窓から出入りしています。断熱効果の高い窓はエネルギーコストを抑え、CO2排出量も大きく削減することに貢献することにもなります。室内外の温度差、結露によるカビやダニによる健康被害を防ぐことにも力を発揮します。実は栃木県、冬の寒暖差による死亡リスクが全国1位。寒冷地である東北や北海道をも凌ぐ残念な数値となっております。朝晩の冷え込みが大きな原因と考えられています。2009年に次世代の樹脂窓として登場した「APWシリーズ」は2016年「第25回地球環境大賞」において経済産業



大臣賞を受賞。様々な分野から注目を集めています。アメリカやドイツでの普及率は60%を超え、世界ではスタンダードになりました。ある樹脂窓も日本ではまだ20%を切る現状。今後、「窓をどうするかで住宅の価値が大きく変わってくる」と考えられます。

使い終わった揚げ油は再利用できるのをご存知でしょうか。昭和50年に創業し、約45年近くも食用油の再利用に取り組んできたのがこの会社。試行錯誤を重ね「回収・精製・再生油の販売」の基本サイクルを確立。コンビニ、飲食店、事業所等から出される使用済み食用油を無償で定期回収し、独自に開発した業界トップクラスの精製技術で高品質のリサイクル油を製造しています。リサイクル油はさらに、家畜の飼料、石鹸、燃料、バイオディーゼル、インクなどの塗料の原料へ。ちなみに一般家庭での廃油もリサイクルは可能です。みかもクリンセンター(0283-233-8153)他地域公民館等でリサイクル回収の受け入れを行っています。凝固剤で固



めたり、紙など吸収体に吸わせて廃棄された油は焼却炉の劣化を早めるとも言われています。リサイクルすることがあらゆる面で環境に優しいことがわかっていきます。この機会に、ご家庭の食用油の処理について考えてみるのはいかがでしょうか?

「料理・副菜・汁物、スイーツ」にいたるまで、すべて植物由来。どれもこれも、えこれが?!と驚きのお味に仕上がっています。全世界の温室効果ガスの18%が牛肉などの畜産業から排出されているというデータもあり、菜食はこの先、CO2削減の面でも活躍の場面が増えそうです。

「料理・副菜・汁物、スイーツ」にいたるまで、すべて植物由来。どれもこれも、えこれが?!と驚きのお味に仕上がっています。全世界の温室効果ガスの18%が牛肉などの畜産業から排出されているというデータもあり、菜食はこの先、CO2削減の面でも活躍の場面が増えそうです。

ドできるスタンドの設置を市内各所に進めています。サイクリストたちが快適に走る環境作り。まずはそこからスタートしています。将来的にはサイクリイベントの開催などを考えており、市外県外から多くのサイクリストを誘致し、地域の活性化を目標としています。